

三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club



2010.12.6

No.1976
No.18



出席率	会員50名中35名
先々週の出席率	91.67%
ウィジター	三条RCより 石橋育於君
先週の メイクアップ	11/29 第4分区AG会へ 葦澤喜一郎君 12/4 地区GSE刈Iテ-ヨリ(新潟)へ 安達 裕君

年次総会



会長挨拶

三条南ロータリークラブ 会長
大溪 秀夫

皆さん、こんにちは。

本日は年次総会です。総会とは次期の役員及び理事を選出する重要な例会であります。端的に申しますと、次々年度の会長を決める例会ということになります。

さて、去る10月19日に指名委員会(歴代会長会議)が開かれ、協議の結果、坂井範夫会員が次々期(2012~13年度)の会長候補者として満場一致で採択されました。これを受けて、翌日に野島さん、葦澤さん、鈴木武さんら歴代会長と私とで坂井さんを訪ね、快諾を得ることができました。そして、11月8日の理事会においても、満場一致で採択されましたことを皆様にご報告致します。

それではここでお諮り致します。

坂井範夫会員を2012~2013年度の会長とすることに賛成の方は拍手を持って応えていただきます。

・*・*・ 満場一致にて承認されました ・*・*・

ありがとうございました。後程、坂井さんからお話をいただきたいと思っております。

話は変わりますが、12月となり何かと忙しい時期になりました。先立って、今年の流行語大賞というものが発表されました。10個くらいノミネートされたようですが、“ゲゲゲの女房”で話題となった、「ゲゲゲのー」が今年の流行語大賞に選ばれました。‘昭和の時代を懐かしく呼び戻してくれた’ことが評価されたようです。

四つのテスト
言行はこれに照らしてから—

- I 真実かどうか
- II みんなに公平か
- III 好意と友情を深めるか
- IV みんなのためになるか どうか



国際ロータリー会長 レイ・クリンギンスミス [アメリカ]
 第2560地区ガバナー 東山 昶也 [高田]
 第4分区AG 葦澤喜一郎 [三条南]
 会長 大溪 秀夫
 幹事 野崎 正明
 S A A 平松 修之

事務局 〒955-8666 三条市旭町2-5-10

三条信用金庫 本店内

TEL 0256-35-3477 FAX 0256-32-7095

E-mail info@sanjo-minami.jp

URL http://www.sanjo-minami.jp

その他、「女子会」「イクメン」「なう」などがあつたようです。また、東京六大学野球の優勝決定戦で慶応大学を下して優勝し、「何か持っていると言われ続けてきました。・・・それは、仲間です。」と話した、早稲田大学の斎藤祐樹選手にも特別賞が贈られました。来年は日本ハムで活躍することを期待します。

□ 2012～13 年度会長候補者 坂井 範夫 君



今日の例会についての連絡を木曜日にもらってから、熱が出る、血圧が上がる・・・と大変な重責を感じております。

大溪会長、私にロータリーへの入会を勧めて下さった野島さん、葦澤さん、私の名前が指名委員会に出た場合には強硬に反対してくれるはずだった鈴木武さんの4人の説得を受け、断ることに嫌いな私はお引き受けした次第です。幹事に丸山征夫さん、SAA には転勤にならないことを願って三野輪明人さんにお願ひしました。

大役ですが、精一杯務めさせていただこうと考えております。よろしくお願ひ致します。

Profile (ロータリー歴)

【 S15.2.22生 H3 (1991) 年11月入会 】

1994～95 (住谷哲雄会長) 年度 環境保全委員長	2005～06 (佐藤栄祐会長) 年度 広報委員長
1997～98 (坪井正康会長) 年度 雑誌委員長	2006～07 (馬場一敏会長) 年度 出席委員長
1998～99 (橋本和雄会長) 年度 国際奉仕委員長	2008～09 (吉井正孝会長) 年度 親睦委員長
2000～01 (安達 裕会長) 年度 広報委員長	2010～11 (大溪秀夫会長) 年度 R財団委員長
2004～05 (石山荘一会長) 年度 社会奉仕・環境保全委員長	

※ 18年連続100%出席

※ マルチプルボル・ポール・ハリス・フェロー、米山功労者

幹事報告

野崎 正明 幹事

東山ガバナー事務所より 2010～2011 年度地区大会 出席協力お礼

※11月20日・21日 於：(上越市) デュオ・セレッソ、リージョンプラザ 南RC 18名出席

委員会報告

社会奉仕委員会

赤塚 寧 委員長

ウィンターフェスティバルに出席して



12月3日(金)、三条市総合福祉センターを会場に、市内特別支援学級児童生徒の「ウィンターフェスティバル」が開催され、支援団体の1クラブとして出席して参りました。

市内小中学校には約50クラスの支援学級があり、230名の児童生徒が楽しみにしている年間行事の一つとのことでした。

手作りのクリスマスカードの交換・楽器演奏やダンスを子ども達の笑顔の中で楽しんできました。

この子供たちの将来が、安心して働き、住んでいけるような優しい三条市であってほしいと考えさせられました。

ニコニコボックス

NIKO-NIKO BOX

～ 12月6日 13,000円
今年度累計 327,000円

三条RC
石橋君

久しぶりのメイクアップです。
よろしくお願ひ申し上げます。

大溪君

本日は総会です。
皆さん、よろしくお願ひします。

野崎君

総会です。ボックスに協力致します。

武藤君 総会を祝して！！

佐藤(秀)君 総会を祝してBOXに協力致します。

赤塚君、佐藤(嘉)君、田中君、銅冶君、
三野輪君、渡邊(光)君

BOXに協力致します。

ロータリーの友 紹介



ロータリーの友 12月号紹介



ロータリーの友 12月号についてご紹介いたします。

〔横組みページから〕

- 1 P-1 R1会長のメッセージ 「Cowboy logic」
「Cowboy logic」という歌は、カウボーイたちはどんなことにもシンプルな解決方法があると歌っている
ロータリーの奉仕の基本的な概念はシンプルであるという点
- 2 P-17 パレスチナ自治区にロータリー誕生
ラマラロータリークラブ 5月28日承認された イスラエル人、パレスチナ人の協力なしでは絶対に実現しなかった。多くの人の努力で誕生、先ずはパレスチナ自治区に安全な遊び場づくりから始める
- 3 P-20 「ESG経営」が始まる
E：環境 S：社会的責任 G：ガバナンス
21世紀の最高経営責任者CEOの資格要素の中に「ESG経営」が必須なものになった
21世紀の地球規模の問題として
①地球温暖化 ②生物多様性の破壊 ③地球の過剰酷使 ④貧困、格差、感染症（HIVなど） ⑤爆発する世界人口
財務onlyからESGを取り込んだ複眼的な企業経営が求められる

〔縦組みページから〕

- 4 P-10 遺伝子工学と先端技術
遺伝子を扱う学問の遺伝子工学が現在先端技術に貢献している
・人類がアフリカから発生した生命の歴史
・病気発生の根源、原因の研究
・ES細胞から臓器、皮膚、骨、神経の再生
・IPS細胞の研究
- 5 P-13 俳壇の一句から
「曲がり来る 路面電車や 秋の風」
秋の風を歌った次の一茶の句を思い出します。
「涼風の 曲がりくねって 来たりけり」
- 6 P-19 ロータリーバッジの重み
車内で席を譲るきっかけのロータリーバッジ
奉仕の精神が甦った一瞬の話です

以上、興味深い記事をご紹介しました。皆さんもどうぞ一読下さい。

クラブ会報委員会 田中悌司

ROTARY NEWS



国際ロータリーニュース

2010年11月15日

この写真どこがおかしい？

クラブや地区のプロジェクトの推進においてロータリーの名称や徽章を正しく使う方法を知っているという思い込みはありませんか。

右の写真には、よく見られる8つの間違いがあります。何が間違っているのか・・・考えてみましょう。



答えは次ページに ➡

- ① 「Rotary」の中に徽章が不真面目な形で使われている
- ② プロジェクト名にクラブ名や地区番号が含まれていない
- ③ 輻と輻の間が塗りつぶされている
- ④ 車輪と徽章が不真面目な形で使われている
- ⑤ 略語「Rota」が使われている
- ⑥ 徽章の複製においてロータリー公式色が使われていない
- ⑦ 徽章の複製に3色が使われている
- ⑧ ドメインネームにクラブ名や地区番号が含まれていない

ロータリーの名称、徽章、その他のロータリーの標章を正しく使うことで、国際ロータリーの信頼性や評判、そして知的財産を守ることができます。

ロータリーの標章には、ロータリー、国際ロータリー、インターアクト、ローターアクト、ロータリー財団、ポール・ハリス、End Polio Now、ロータリアンをはじめ、さまざまな名称や言葉、記章が含まれています。これらは、60か国以上で登録されている国際ロータリーの商標です。



2010年11月12日発行【月刊】
(財)ロータリー米山記念奨学会

ハイライトよねやま 129

4 新モンゴル高校創立 10周年記念式典に参加して

2010-11年度 学務・学友委員 足立 功一 (第2500地区 釧路北RC)

10月5日、米山学友のジャンチブ・ガルバドラッハさん(1998-99/山形北RC)が開校した日本式高校、「新モンゴル高校」の創立10周年記念式典がウランバートルで開催され、第2800地区(山形県)を中心とする日本のロータリー関係者とともに参加してまいりました。

10年前、モンゴル初の3年制高校として生徒105人でスタートした同校は、現在では生徒数約750人を擁し、中学校・小学校も併設する指折りの進学校だそうです。世界中の大学へ留学生を輩出しており、日本にもこれまでに150人の留学生を送り出すなど、モンゴルの教育制度を根本的に変えたと言われるくらいの実績を残している学校であります。

米山学友が母国で素晴らしい学校を設立し、大きな実績をあげていることに、米山記念奨学事業を支える日本のロータリアンの一人として、心から誇りに思いました。そして、式典を通じて、モンゴルの次代を担う若者の教育に貢献し、日本-モンゴル間の友好に素晴らしい成果を上げていることを実感することができました。これまでジャンチブさんを支えてきた世話クラブや、山形を中心とする支援団体「柱一本の会」に敬意を表すると同時に、こうした素晴らしい人材の宝庫である米山奨学事業の、なお一層の発展に向けて、微力を尽くしたいと思っております。



* 10月18日の「米山月間」時に卓話をされた長岡技術科学大学のバトナサン・パチュルンさんが紹介された(卒業された)日本式高校に関する記事です。

表紙について



ジョセフ・マラード・
ウィリアム・ターナー(1775~1851)

■「インヴェラレイ城の
見えるフィン湾」1801年

山梨県立美術館

ロータリーの友 1989年3月号表紙より

三條南ロータリークラブ週報

2010.12.6

No.1976 No.18